

## A-1 保育内容

### 1-(1) 保育課程の編成

	第三者評価結果
A-1-(1)-① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	Ⓐ・b・c

#### 所見欄

保育課程は保育所の理念・基本方針に基づいて編成され、各期ごとの振り返り評価で、見直すべき部分を検討し、次年度の策定時に反映させている。

### 1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開

	第三者評価結果
A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	Ⓐ・b・c
A-1-(2)-② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	Ⓐ・b・c
A-1-(2)-③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることのできる環境の整備、援助を行っている。	Ⓐ・b・c
A-1-(2)-④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	Ⓐ・b・c
A-1-(2)-⑤ 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	Ⓐ・b・c
A-1-(2)-⑥ 3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	Ⓐ・b・c
A-1-(2)-⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	Ⓐ・b・c
A-1-(2)-⑧ 障がいのある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	Ⓐ・b・c
A-1-(2)-⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	Ⓐ・b・c
A-1-(2)-⑩ 小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	Ⓐ・b・c

#### 所見欄

健康管理マニュアルに保育室の環境(温度・湿度・換気など)を定めており、冬は加湿器や濡れタオルによって湿度を保ち、夏はすだれを利用するなどして心地よく過ごせるよう工夫している。

子どもが服のたたみ方など、基本的な生活習慣を身に着けられるよう、紙芝居や絵本、カード、写真などを使って分かりやすく工夫している。

グループ活動や係り活動(朝のごみ集め、お花飾り、本の片づけなど)、お店ごっこ、ドッジボールなど

を通じてルールを守ることが身につくよう指導している。

「送迎時の保育士との会話や連絡帳で園や家庭での子どもの様子について情報交換していますか」というアンケート項目は「はい」の回答が 100%であり、保護者との間で良好なコミュニケーションが取れていることがうかがえる。

子どもの発達にあわせて、保育の内容や方法に配慮しており、0歳児は無理に歩かせようとせず、ハイハイをしっかり行って体幹づくりを行っている。また、3歳未満児では、発達に応じた玩具や遊びのコーナーを整備し、探索活動を十分行えるよう配慮している。3歳以上児では、グループで話し合っ一つの物をつくるなど、子どもの意見を取り入れながら、子どもが主体的に遊べる環境づくりに配慮している。また障害のある子どもについては、支援計画作成会に保護者、ウイングサポートセンター、小学校、医療機関、児童デイサービスの参加により助言を得ている。

長時間保育の場合には、家庭も含めたその子どもの 24 時間の生活リズムを把握して、係わる職員が同じ認識で支援するよう配慮している。年長クラスでは、小学校行事(運動会、いもほり、一日入学)に参加するとともに、小学校教諭と連携しながら就学相談に対応している。

### 1-(3) 健康管理

	第三者評価結果
A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。	Ⓐ・b・c
A-1-(3)-② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	Ⓐ・b・c
A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	Ⓐ・b・c

#### 所見欄

毎朝、保育士が一人ひとりの名前を呼んで顔色を見ながら、健康をチェックしている。年長クラスでは、子どもが体調を答えられるように問いかけして、健康チェックしている。歯科健診の結果から歯科医による歯磨き指導実施を行うなど、適切な対応を行なっている。食事のトレーに顔写真を貼ってアレルギー食の間違いを防止するとともに、アレルギー緊急対応マニュアルを策定し、緊急時に備えている。

### 1-(4) 食事

	第三者評価結果
A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	Ⓐ・b・c
A-1-(3)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a・Ⓑ・c

#### 所見欄

訪問調査時の試食時にも、旬の食材を取り入れて、盛り付けや温かさにも配慮し、おいしく調理されていた。子どもが調理に参加するクッキング年間食育計画を策定し、楽しみながら豊かな経験ができるよう取り組んでいる。食べ具合や残食について保護者に知らせる取り組みと衛生管理マニュアルにより具体的な手順や確認方法などを記載し充実させることが期待される。

## A-2 子育て支援

### 2-(1) 家庭との緊密な連携

	第三者評価結果
A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	Ⓐ・b・c

#### 所見欄

連絡帳や送迎時の会話で日常的な情報交換に努め、園だより・クラスだより・保育参加・保育参観・年2回の保護者懇談会など保護者の理解を得るための機会を設けている。保護者も保育に参加する機会と園やクラスの様子を分かりやすく伝えることについては高く評価している。

### 2-(2) 保護者等の支援

	第三者評価結果
A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	Ⓐ・b・c
A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害のある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	Ⓐ・b・c

#### 所見欄

事前に予定されていなくても、相談がある場合は応じ、他の職員がカバーするなどして臨機応変に対応している。保護者からも「悩みを聴いてくれる」「保護者の立場や気持ちに寄り添ってくれる」など高く評価されている。虐待対応マニュアルを策定し、職員に研修するとともに、虐待の恐れがある場合には、母子連絡会に相談し、必要に応じて警察・行政・民生委員などと連携しながら、家庭全体を見守るようにしている。

## A-3 保育の質の向上

### 3-(1) 保育実践の振り返り(保育士等の自己評価)

	第三者評価結果
A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	Ⓐ・b・c

#### 所見欄

週・月・年間の指導計画の評価時に振り返りを行っている。第三者評価の項目も参考にして、職員会で話し合っている。